

# 事業報告書

平成29年度

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日



社会福祉法人 神川町社会福祉協議会

## 事業報告書目次

1	法人運営事業	1
2	地域福祉活動事業	4
3	共同募金配分金事業	9
4	生活福祉資金・福祉資金貸付事業	12
5	ボランティアセンター事業	13
6	在宅福祉サービス事業	16

※事業報告書の項目は、決算書のサービス区分ごとになっております。

# 1 法人運営事業

## (1) 理事会、評議員会、監事会、評議員選任・解任委員会の開催

### ①理事会 定数：10～14名

第1回 平成29年5月22日 開催（理事10人・監事2人 出席）

- 平成28年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会事業報告の承認について
- 平成28年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会決算の承認について
- 平成29年度～平成33年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会社会福祉充実計画（案）について
- 平成29年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会第1次補正予算（案）の同意について
- 社会福祉法人神川町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
- 社会福祉法人神川町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
- 社会福祉法人神川町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
- 平成29年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会定時評議員会の招集について
- 社会福祉法人神川町社会福祉協議会役員候補者（案）について

第2回 平成29年6月22日 開催（理事13人・監事2人 出席）

- 社会福祉法人神川町社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選任について

第3回 平成30年3月19日 開催（理事11人・監事2人 出席）

- 平成29年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会第2次補正予算（案）について
- 平成30年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会事業計画（案）について
- 平成30年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会予算（案）について
- 社会福祉法人神川町社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 社会福祉法人神川町社会福祉協議会役員候補者（案）について
- 社会福祉法人神川町社会福祉協議会評議員会の招集について

### ②評議員会 定数：15～18名

定時評議員会 平成29年6月21日 開催（13人出席）

- 平成28年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会事業報告の承認について
- 平成28年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会決算の承認について
- 平成29年度～平成33年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会社会福祉充実計画（案）について
- 平成29年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会第1次補正予算（案）の承認について
- 社会福祉法人神川町社会福祉協議会役員の選任について

第2回 平成30年3月27日 開催（13人出席）

- 平成29年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会第2次補正予算（案）について
- 平成30年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会事業計画（案）について

- 平成30年度社会福祉法人神川町社会福祉協議会予算（案）について
- 社会福祉法人神川町社会福祉協議会役員の選任について

③監事会 定数：2名

平成29年4月25開催（2人出席）

- 社会福祉法人神川町社会福祉協議会平成28事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の監査

④評議員選任・解任委員会

平成29年5月30日（火）開催（委員4名出席）

- 3名選任（根岸孝芳氏、須藤勘三郎氏、新井憲氏）

(2) その他の事業

事業名	社協会員募集	事業形態	自主
		財源	自主
事業概要	住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりをすすめる為の制度で、町民一人ひとりに支えられています。協力いただいた会費は、ボランティア育成事業、福祉教育事業など、社協の活動を支える財源として有効に活用させていただいています。		
平成29年度実績	①普通会費（1口300円） ②賛助会費（1口1,000円） ③法人会費（1口5,000円）	3,761件 27件 61件 合計	1,128,300円 29,000円 491,000円 1,648,300円
現状と課題	普通会費、賛助会費については区長会の協力により、納入していただいています。法人会費については、社協の事務局にて各法人、事業所へ協力依頼を行い、納入して頂きました。年々、実績は減少してきておりますが、社協活動において重要な財源でありますので、今後、維持、継続するため地域福祉に還元し、広報や周知を工夫し会員増強に努めていきます。		

事業名	社協だより発行	事業形態	補助
		財源	町補助金
事業概要	社協の広報紙として町民、町内各施設、関係団体等に事業紹介や社協の活動を知っていただくために作成、発行しています。		
平成29年度実績	年4回発行 5月、8月、11月、2月（各15日発行）		
現状と課題	より多くの方に社協を知っていただき、事業に参加いただく等、社協を身近に感じていただけるよう広報していきます。		

事業名	ホームページ活用	事業形態	補助
		財源	町補助金
事業概要	インターネットによる情報提供、情報開示を行います。		
平成29年度実績	イベントの開催案内、報告、義援金の募集など、1カ月に1回を目安に配信内容の確認を行い、情報の更新等を行いました。		
現状と課題	その都度新しい情報を発信できるよう適宜更新を行いました。		

事業名	その他広報啓発活動	事業形態	自主
		財源	会費
事業概要	社協の活動や福祉活動に対する意識の啓発を図るため発行しています		
平成29年度実績	社協のしおり（平成29年度版）等		
現状と課題	区長会、民生児童委員協議会、ボランティア団体、小中学校、保育所など様々なところで社協の活動について説明を行いました。		

## 2 地域福祉活動事業

事業名	地域支え合い推進事業		事業形態	補助
			財源	町補助金
事業概要	地域住民同士で、ちょっとした日常生活の支え合いを行うことにより、生きがいつくり介護予防の促進と、地域商品券を発行し、お礼に使用することで、地域の商業振興等につながることを目的とした事業です。支える人、支えてもらう人、共に登録制度になっています。			
平成29年度実績	利用会員数（支えてもらう人）	14人		
	協力会員数（支える人）	22人		
	利用時間	142時間		
現状と課題	主に買い物代行と通院の付添いの依頼がありました。課題としては、利用登録者があまり増えないことです。			

事業名	介護支援ボランティア事業		事業形態	受託
			財源	町受託金
事業概要	65歳以上の高齢者がボランティア登録をして、介護予防の一つとして、町内の登録施設、サロンなどでボランティア活動をしています。活動をすると、専用の手帳にスタンプが押され、スタンプ（＝ポイント）が溜まると地域商品券等に交換できるようになっています。			
平成29年度実績	活動登録者総数	95人		
	ポイント交換者	23名		
	ポイント交換実績金額	83,000円		
		<内訳>地域商品券	41,000円	
		現金	40,000円	
		寄付	2,000円	
現状と課題	町からの受託事業として本年度も行いました。活動者は、ポイントという目に見える達成感があり、事業も定着してきました。町内のサロン活動、施設での活動補助などをしていただきました。登録者も活動場所も増えており、活発に事業展開が行われています。			

事業名	生活困窮者自立支援事業		事業形態	自主
			財源	自主
事業概要	生活に困窮した方の相談を受付けて、行政等の機関と連携しながら、その方に必要な支援について検討し、関係機関とのネットワーク作りを行います。			
平成29年度実績	相談受付件数	9件		
現状と課題	埼玉北部相談支援センターで行っている、自立相談支援事業の相談員と連携し、就労支援、家計支援、学習支援等へつなげました。			

事業名	日常生活自立支援事業	事業形態	受託
		財源	県社協受託金
事業概要	高齢者、障害者で判断能力が不十分な方が地域で安心して生活できるように、福祉サービスの利用手続き、日常生活上の助言、金銭管理、書類預り等の支援を行っています。		
平成29年度実績	契約件数 2件 (利用目的：日常的な金銭管理)		
現状と課題	昨年度と利用契約件数、利用者は変わらず、継続的に利用されました。支援としては、契約されている方のところへ定期的に訪問し、主に金銭管理の支援を行いました。		

事業名	食料支援事業（フードバンク埼玉）	事業形態	自主
		財源	自主
事業概要	フードバンク埼玉に登録し、そこから無償でいただいた食料を、町内の困窮した世帯へ配布します。		
平成29年度実績	支援件数 7世帯 29回		
現状と課題	食料支援も3年目を迎えました。現金の貸付に比べ、より早く支援を行えることが特徴です。支援に要する食料は、フードバンク埼玉からいただく物と、町内の方から善意でいただいた余剰食品などで賅っております。課題としては、食品保管の都合上、缶詰、乾麺など食品の内容が偏っている所です。また、食糧の支援だけでなく、その後のフォローアップについて検討する必要があります。		

事業名	彩の国あんしんセーフティネット	事業形態	自主
		財源	会費
事業概要	生活に困窮した方の相談を受付けて、緊急的な支援が必要な世帯に対して、現物給付を基本として支援を行う事業です。		
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援実施世帯 1世帯</li> <li>支援内容 電気代</li> </ul>		
現状と課題	支援を行う際には、頼れる家族が近くにいないこと、他の制度で対応できないこと、現在の生活環境の様子などを細かく調査してから、支援を行っています。資金については、県内の社会福祉法人から拠出された資金を基に、現物給付を行い生活の立て直しをはかりました。また、就労についても、一般就労への準備として、中間就労という形で支援を行いました。		

事業名	結婚相談事業	事業形態	受託
		財源	町受託金
事業概要	結婚相談所を月1回第1水曜日開設し、社協より委嘱している相談員4名の方が2名ずつ交代で、結婚に関する相談に対応しています。また、児玉郡市町の社協と共催で婚活イベントを開催しています。		
平成29年度実績	【結婚相談所】 登録者数 7名（男性：5名 女性：2名） 【婚活イベント】 8月11日（金） 『料理コン』 2部制 会場：はにぼんプラザ（本庄市） 参加者：48名（男女各24名） カップル7組成立 【ご成婚】 1組 27年度に社協主催の婚活パーティーに参加された神川在住の男性		
現状と課題	婚活イベントには定員を超える参加申し込みがありました。相談所登録も1件新規登録がありました。相談所を開設してもなかなか相談者の来所はなく、郡市等の広域での対応が今後も必要と考えられます。		

事業名	心配ごと相談事業	事業形態	受託
		財源	町受託金
事業概要	日常生活の中での困りごとや悩みごとの相談に応じ、問題の解決に向けて、助言や対応する窓口等の案内を行います。なお、人権相談、行政相談と同時開催となっています。そのため、相談員は、民生・児童委員、行政相談員、人権擁護委員で構成されています。		
平成29年度実績	相談件数 17件		
現状と課題	相談内容としては、家族問題（離婚、相続など）からご近所問題などが寄せられています。専門的な相談（相続、離婚等）については、話を聴きそれぞれ相談内容に沿った専門家や専門の相談機関へ案内しています。		

事業名	金婚祝い写真贈呈事業	事業形態	補助
		財源	町補助金
事業概要	結婚50周年を迎える町内在住のご夫婦から申請をしていただき、記念撮影と写真の贈呈を行っています。		
平成29年度実績	写真贈呈夫婦 8組		
現状と課題	9月に毎戸配布でチラシを入れて周知しました。撮影場所を自宅か写真館で選択していただき、撮影を行い概ね好評でした。		



事業名	貸出事業	事業形態	自主
		財源	自主
事業概要	福祉用具等が必要な方や、福祉教育を推進する学校等へ福祉用具の貸出をしています。		
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす 22件</li> <li>・福祉車両（車いす対応車） 7件</li> <li>・スクリーン&amp;プロジェクター 7件</li> <li>・移動式炊き出し釜・テント 3件</li> <li>・福祉教育物品 6件</li> <li>・その他 6件</li> </ul>		
現状と課題	<p>ホームページや社協だよりに貸出物品一覧を掲載し、周知をはかりました。新しく配備した、スクリーンとプロジェクターは、各地区で開催されているサロン活動での上映会に活用されました。</p> <p>また、町内小学校へ、福祉教育で使う物品の貸出や福祉施設職員の研修・投票所への貸出（車いす）もありました。</p>		

事業名	日赤会員増強運動	事業形態	自主
		財源	寄附金・町補助金
事業概要	<p>自然災害等による救援活動をはじめ、地域医療、国際活動、献血事業、赤十字奉仕団の育成など様々な社会福祉事業の充実を図るために、活動資金の募集を行っています。</p> <p>神川町では、区長会の協力のもと、各区から活動資金の協力をいただいています。集まった活動資金は日本赤十字社埼玉支部へ納められ、その一部は神川町における講習会開催、炊き出し訓練等に活用されます。</p>		
平成29年度実績	<p>【活動資金実績金額】 合計 940,251円</p> <p>【炊き出し訓練実施】 6月4日（日） 土砂災害訓練（神川町）</p> <p>10月29日（日） 炊き出しサミット（深谷市）</p> <p>3月3日（土） 児玉郡市災害ボラセン運営訓練</p> <p>【講習会の開催】 11月30日（木） 避難所運営研修（「HUGJ」）</p>		
現状と課題	<p>人口の減少に伴い、活動資金の集まる額も年々減少してきています。しかし、神川町においては、より地域の方に赤十字の活動を知っていただくために、講習会を年1回以上、埼玉県支部の講師を招いて開催しています。</p> <p>ご協力いただいた活動資金で配備した物品の貸出しも行っています。昨年は、火災した住宅への布団、及び日用品セットの配布も行いました。</p> <p>今後も赤十字の活動を広く知っていただき、活動資金についても協力頂けるよう事業を計画していきます。</p>		

### 3 共同募金配分金事業

事業名	赤い羽根共同募金	事業形態	自主
		財源	募金
事業概要	10月から3月末にかけて、全国規模で展開される地域福祉推進のための募金活動です。		
平成29年度実績	合計 1,501,792円		
現状と課題	神川町では、学校、職場（役場、施設等）、地域などで募金活動に協力いただいています。集められた募金が、神川町においてどの様に活用されているかの周知を行い、協力につながるようにします。		

事業名	赤い羽根共同募金配分金事業	事業形態	自主
		財源	募金
事業概要	赤い羽根共同募金の募金実績に応じて、埼玉県共同募金会から配分金をうけ、事業を実施しています。		
平成29年度実績	<p>①地域サロン活動支援16か所 ※詳細は下記に掲載</p> <p>②障がい者支援 支援品（箱ティッシュ）の贈呈 町内4施設</p> <p>③高齢者支援 ひとり暮らし高齢者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回昼食会 9月27日（水） 場 所：冬桜の宿（神川町矢納） 参加者：39名参加</li> <li>・第2回昼食会 2月15日（木） 場 所：小菊（上里町） 参加者：43名参加</li> <li>・ふれあいの旅 11月15日（水） 場 所：埼玉県川越市（喜多院他） 参加者：35名参加</li> </ul> <p>④子育て支援 子育てサロン開催（平成30年5月～）のための準備 （資機材等の購入）</p>		
現状と課題	子どもへの支援事業が行われていなかったため、本年度予算で準備を行い、平成30年度より子育てサロンを開催します。		

#### 【ふれあいいきいきサロン活動報告】

No.	地区名	活動回数	延べ参加人数	No.	地区名	活動回数	延べ参加人数	No.	地区名	活動回数	延べ参加人数
1	元阿保	9	369	7	関口	8	269	13	植竹第3	9	153
2	熊野堂	11	213	8	貫井	12	365	14	宇那室	12	75
3	池田	10	208	9	原新田	10	162	15	住居野	14	164
4	小浜年輪	11	154	10	新里	9	320	16	前組	9	222
5	八日市	10	320	11	中新里	12	198				
6	元原	10	118	12	植竹	10	348				

事業名	地域歳末たすけあい募金	事業形態	自主
		財源	募金
事業概要	12月1日から12月31日に実施される歳末における地域での福祉活動支援のための募金活動です。		
平成29年度実績	合計 1,141,130円		
現状と課題	赤い羽根募金とは異なり、職場等で募金活動を行っていないため、募金総額が少なくなっています。今後は、広報の範囲を広げ、募金が集まるようにしていきます。		

事業名	地域歳末たすけあい募金配分金事業	事業形態	自主
		財源	募金
事業概要	地域歳末たすけあい募金の募金実績に応じて、埼玉県共同募金会から配分金をうけ、事業を実施しています。		
平成29年度実績	<p>①歳末見舞金事業 配布金合計 573,702円（33世帯102人へ配布）</p> <p>②絵てがみ交流事業 小学生 1回目 20名参加 2回目 4名参加 高齢者 84名へ送付</p> <p>③親子ふれあいクッキング（上里カンターレ） 1回目 2月3日（土）パン作り 9組参加 2回目 2月24日（土）クッキー作り 10組参加</p> <p>④災害ボランティアセンター運営訓練（児玉郡市社協共催事業） 平成30年3月3日（土）開催 総勢50名の参加者（内神川町より11名参加）</p>		
現状と課題	<p>①歳末見舞金は平成27年度から申請方式となり、民生委員の協力を得て、申請のあった各世帯に見舞金の配布を行いました。</p> <p>②昨年度から始まった事業です。町内の小学生に絵てがみを作成してもらい、ひとり暮らし高齢者へ送付しました。今年度は絵てがみの作成場所をいこいの郷会場だけでなく、神泉ステラでも行いました。</p> <p>③親子のふれあい事業として、料理教室を開催しました。人気のイベントで申し込み開始後、すぐに定員を充たしてしまいます。今年度は、パン作りとクッキーづくりの2種類のコースを設けました。どちらも親子で和気あいあいと、共同作業を行っていました。</p> <p>④大規模災害時に設置される「災害ボランティアセンター」について、児玉郡市社協共催で講習会を行いました。</p>		

#### 4 生活福祉資金・福祉資金貸付事業

事業名	生活福祉資金貸付事業	事業形態	受託
		財源	県社協受託金
事業概要	<p>埼玉県社協で行っている生活福祉資金貸付事業の窓口として事業を受託しています。生活に不安を抱えた低所得、障がい者及び高齢者世帯の方々に、資金の貸付と合わせて必要な相談支援を行うことで、経済的自立や生活意欲の向上を図り、また、在宅福祉及び社会参加を促進し、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。</p> <p>資金の種類は、総合支援資金、福祉資金（福祉費・緊急小口費）、教育支援資金、不動産担保型生活資金等があります。</p>		
平成29年度実績	貸付件数 0件		
現状と課題	教育支援資金に関する問い合わせは数件ありましたが、他の制度が優先されるため、いずれの相談も貸付には至りませんでした。		

事業名	神川町福祉資金貸付事業	事業形態	自主
		財源	会費
事業概要	<p>町内在住の低所得世帯に対して貸付を行うことにより、生活の安定と自立の助長を図ることを目的として、1世帯あたり50,000円以内で貸付を行う事業です。申請については、民生委員の協力を頂いています。</p>		
平成29年度実績	<p>貸付件数 3件 貸付金額 72,680円</p>		
現状と課題	<p>貸付理由としては、生活保護費の紛失が1件、生活費の不足（子どもに関する費用）2件でした。食料支援だけでは対応できない場合にのみ、現金貸付を行ったため、貸付件数は年々減少しています。ただ、収入はあってもお金の使い方に問題があるために、金銭的に困るケースが増えてきています。</p>		

## 5 ボランティアセンター事業

事業名	ボランティアセンター運営事業	事業形態	自主
		財源	会費・町補助金
事業概要	ボランティアに関する相談、派遣調整、ボランティア保険への加入手続き、寄付の受付等を行っています。		
平成29年度実績	①ボランティア登録団体数 ②ボランティア派遣調整 ③ボランティア活動保険加入者 ④使用済み切手・書き損じ葉書 ペットボトルキャップ  使用済みインクカートリッジ	7団体 12件（昨年比－3件） 378名（昨年比＋87名） 社会福祉法人日本失明者協会へ送付 総回収量 455.5 kg （約110人分のワクチン） 本庄特別支援学校へ送付	
現状と課題	ボランティアセンターの役割、機能について広報等を通じて周知するようにしました。使用済み切手、書き損じはがき、ペットボトルキャップ、使用済みインクカートリッジについて、回収後の活用がどのように行われているのかを、具体的に示すとともに、資源のリサイクルをどこにどのように活用していくかを検討する必要があります。		

事業名	ボランティア育成事業	事業形態	自主
		財源	会費・町補助金
事業概要	①夏休みを中心に、小学生から大学生までを対象に、ボランティア体験プログラムを開催して、ボランティア活動を身近な活動として捉えてもらえるように支援しています。 ②近年多発している自然災害により、神川町が被害を受けてボランティア活動が必要になる場合に備えて、災害ボランティアの登録募集、育成について事業を企画しています。 ③障がいへの理解を深め、豊かな共生社会を目指して、特別支援学校で活動するためのボランティア養成講座を児玉郡市社協と共催で行っています。ボランティアの活動に応じて、基礎講座、フォローアップ講座、スキルアップ講座を開催しています。		
平成29年度実績	①参加者総数 156名（小学生 42名・中学生以上 114名） （昨年比＋10名） メニュー数 6メニュー （ボランティアスクール、施設ボランティア等） ②-1 災害ボランティア入門講座（全2回コース）開催 平成29年11月25日（土） 22名参加 平成29年12月 9日（土） 23名参加		

	<p>-2 雪かき道場体験 平成30年 2月17日(土) 参加者 15名(小中学生 11名、大学生 1名、社会人 3名)</p> <p>-3 災害ボランティアセンター運営訓練開催(児玉郡市社協共催) 平成30年 3月 3日(土) 参加者数50名(うち神川町から11名) 炊き出しボランティア 22名(うち神川から6名)</p> <p>③参加者数 11名(うち神川町在住者 1名)</p>
<p>現 状 と 課 題</p>	<p>①ボランティア体験プログラムについては、毎年行っている事業のため、子どもたちの間でも知られるようになってきました。ボランティアスクールでは「災害に備えて」というテーマで、災害時食の体験、着衣泳、救急救命講習、おぢや震災ミュージアム見学などを行いました。また、小学校低学年でも参加できるプログラムを開催し、手話講習、ペットボトルキャップのリサイクルについて学びました。小学生向けのプログラムについては、今年度も町のジュニア消防団との共催で行ったプログラムもあります。また、施設ボランティアについては、受け入れ先の施設を増やし、新たに学童保育などでも活動できるようになり年々参加者が増えています。</p> <p>②今年度は災害ボランティアに関する講座を開催しました。区長会や民生委員さんをはじめとする、町民の方に参加して頂き、災害に対する住民の意識の高さを感じました。また、児玉郡市社協共催で災害ボランティアセンターの運営訓練を行いました。赤十字奉仕団の協力も得て、昼食の炊き出しを行い、1日がかりの訓練となりました。座学と実践を組み合わせ外部講師の講義のもと、多くの学びがありました。</p> <p>③「共学支援プログラム事業」として、児玉郡市社協共催で毎年行われています。参加者数については、横ばいの状態ですが、障害(児)についての理解を広め、特別支援学校を知ってもらい、障害のある人もない人も共に生活できる地域づくりの一つとして継続して取り組んでいます。</p>

事業名	福祉教育の推進	事業形態	自主
		財源	会費・町補助金
事業概要	<p>①小中学校における「総合的な学習の時間」において、福祉体験学習の支援を行いました。</p> <p>②社会福祉活動協力校等に対する補助金の交付を行いました。</p>		
平成29年度実績	<p>①丹荘小：6月13日（火）4年生 視覚障害、車いす体験授業企画、講師派遣調整</p> <p>青柳小：5月11日（木）6年生 施設訪問のための事前学習開催</p> <p>2月23日（金）4年生 点字学習の講師派遣調整、授業補助</p> <p>渡瀬小：2月8日（木）4年生 高齢者疑似体験セット、点字板セット、車いす、白杖貸出、福祉図書デリバリー事業利用支援</p> <p>神泉小：5・6年生 高齢者疑似体験セット貸出</p> <p>②補助金額 512,000円 町内小中学校・幼稚園・保育所に各64,000円</p>		
現状と課題	<p>小学校からは、毎年依頼を受けており授業への支援が恒例となっています。内容がマンネリ化しないよう、学校の先生と打ち合わせをし、検討しています。また、体験授業を行う際には、ボランティアセンターに福祉教育ボランティアとして登録している方にサポートしていただいています。社協としても、学習指導要領などを確認したり、各校と連携しながら支援を継続できるよう研修などにも参加していきます。</p> <p>福祉教育は「教育」とありますが、小学校・中学校など子ども向けだけでなく、「地域づくり」もその内容に含んでおり、少子高齢社会において、隣近所、地域の有り方について見直されている昨今なので、地域づくりの一助を担えるよう、社協職員も研修を受けて地域の福祉教育を実践できるように努めます。</p>		

## 6 在宅福祉サービス事業

事業名	居宅介護支援事業	事業形態	自主	
		財源	介護保険	
事業概要	介護保険の利用を希望されるかたの申請代行を行い、日常生活を営むために必要なケアプラン（居宅サービス計画）を作成する居宅介護支援事業を実施します。			
平成29年度実績	利用状況			
	項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	要介護1・2	395件	358件	372件
	要介護3～5	108件	144件	154件
	合計	503件	502件	526件
現状と課題	<p>要介護1・2の利用件数は、前年度比14件の増加、要介護3～5の利用件数は、前年度比10件の増加となり、合計では前年度比24件の増加となりました。</p> <p>随時、研修に参加し新たな知識の習得に努めるとともに、地域包括支援センターや医療機関と連携を図りながら適切な支援を行い、利用者の確保を図っていきます。</p>			



事業名	訪問介護事業	事業形態	自主		
		財源	介護保険		
事業概要	要支援状態や要介護状態にある高齢者などの家庭にホームヘルパーを派遣し、入浴、排泄、身体清拭等を行う身体介護と、食事や身の回りの世話をする生活援助（家事援助）のサービスを行う訪問介護事業を実施します。				
平成29年度実績	①サービス別利用回数状況				
	項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	身体介護	1,345回	1,059回	424回	
	身体／生活	449回	548回	544回	
	生活援助	2,690回	1,922回	1,234回	
	総合支援事業 (生活援助)	—	503回	1,079回	
	合計	4,484回	4,032回	3,281回	
	②要介護度別利用者状況				
	項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	介護保険	要支援1	64人	22人	—
		要支援2	134人	69人	—
		要介護1	95人	80人	67人
		要介護2	20人	14人	27人
		要介護3	17人	4人	2人
要介護4		12人	28人	12人	
総合	要介護5	12人	21人	11人	
	要支援1	—	25人	52人	
	要支援2	—	26人	25人	
事業対象者	—	46人	106人		
合計	354人	335人	302人		
現状と課題	<p>介護保険事業と総合事業を合計した利用状況は、前年度と比べ延べ回数で751回の減少となりました。利用者の入院、入所などが減少の大きな要因となりました。また、ヘルパーの人材不足に加えて、障害福祉サービスの増加に伴い、新規のサービスの受け入れを見送ってまいります。</p> <p>新しい技能、知識の習得によりサービスの拡大につなげるとともに、人材の確保に努めます。</p>				

事業名	デイサービス事業		事業形態	自主				
			財源	介護保険				
事業概要	要支援状態や要介護状態にある高齢者などを、デイサービスセンターで食事や入浴、機能訓練などのサービスを提供する通所介護事業を実施します。							
平成29年度実績	利用状況							
	項目		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			人数	回数	人数	回数	人数	回数
	介護 保険	要支援1	12	47	1	2	—	—
		要支援2	92	643	38	255	—	—
		要介護1	160	1,628	135	1,439	115	1,045
		要介護2	55	646	53	664	73	625
		要介護3	8	86	10	83	1	2
		要介護4	26	126	12	50	2	7
	総合	要介護5	12	55	4	14	—	—
		要支援1	—	—	1	4	19	79
		要支援2	—	—	26	208	42	303
		事業対象者	—	—	—	—	5	25
合計		365	3,231	280	2,719	257	2,086	
現状と課題	<p>平成29年4月1日からユニットバスで入浴支援を開始しました。</p> <p>介護保険事業と総合事業と合計した利用状況は、前年度と比べ延べ人数で23人、延べ回数で633回の減少となりました。介護の重度化、ショートステイ利用、施設入所、また疾病による入院が増加したことなどが、デイサービス利用減少の要因となっているが、入浴希望者の受け入れに制限があることも影響している。</p> <p>運動機器導入により、総合事業や要介護1などの身体機能の維持向上や軽度の障害を持つ利用者の利用が増えてきている。介護予防、自立支援を中心としたサービスを提供していきます。</p>							

事業名	障害福祉サービス事業		事業形態	①町受託 ②自主			
			財源	①町受託金 ②自立支援			
事業概要	<p>①身体障害者デイサービス事業          デイサービスセンターで機能訓練などのサービスを行う障害者デイサービス事業を実施します。</p> <p>②居宅介護事業          障害者（児）の家庭にホームヘルパーを派遣し、入浴、排泄、食事などの介護や洗濯、掃除などの家事サービスを行うホームヘルプサービスを実施します。</p>						
平成29年度実績	①身体障害者デイサービス事業						
	項目	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		人数	回数	人数	回数	人数	回数
	合計	24	213	22	200	12	113
平成29年度実績	②居宅介護事業						
	項目	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		人数	回数	人数	回数	人数	回数
	合計	88	600	89	630	118	836
現状と課題	<p>①身体障害者デイサービス事業          1名の利用者に週3回、理学療法士や機能訓練指導員による機能訓練を実施しました。</p> <p>②居宅介護事業          11名の利用者に月70回ほど、ヘルパーによる身体介護、生活援助を実施しました。</p>						